

R6 魚津市のコミュニティ・スクール ～活動紹介～ ①

魚津市では、すべての小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした取組みを開始しました。コミュニティ・スクールの導入に際し、多くの方々にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

コミュニティ・スクールの活動について多くの人に知っていただくために、学校運営協議会や地域学校協働活動の様子、学校の取組みなどを紹介していきます。

第1回学校運営協議会 よつば小学校

よつば小学校では、5/27(月)に第1回学校運営協議会が開催されました。開会の挨拶の中で、山瀬 敬 教育長が、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした創意ある活動への可能性に触れ、委員の皆様への期待と感謝の意を伝えました。事務局から協議会規則についての説明の後、会長として亀澤俊幸さん(村木地区振興会会長)、副会長には大野聡一さん(大町コミュニティセンター長)が選出されました。



令和6年度から、よつば小学校はコミュニティ・スクールの仕組みを導入しました。児童を真ん中に、学校と家庭、地域を結ぶよつば小学校「コミュニティ・スクール」の温かい組織を大事に育てていきたいと思っております。

5月27日(月)に第1回学校運営協議会を開催し、学校から運営方針説明を行い、委員の皆様から意見をいただきました。今後、11月には活動体験と中間評価、2月には今年度の振り返りと次年度の方向性等について協議します。内容については、「コミュニティ・スクール通信」を通じてお知らせしていきます。
※令和6年度のよつば小学校グランドデザインは、学校ホームページに掲載していますのでご覧ください。

亀澤俊幸 様	協議会会長 村木地区振興会会長	下坂佑佳 様	よつば小学校 PTA 会長
大野聡一 様	協議会副会長 大町コミュニティセンター長	吉浦由緒 様	よつば小見守り隊隊長
高橋 均 様	協議会活動推進員 上野方地域振興会会長	柴垣尚一 様	地区社会福祉協議会代表
三谷敬博 様	協議会活動推進員 本江地区振興会会長	浦田孝子 様	民生・児童委員代表
辻 悟 様	保護者	野澤良民 様	小学連携(学F連携後)
大野慎太郎 様	保護者	森田英幸 様	よつば小学校 校長
岡島雄幸 様	保護者	山島智子 様	よつば小学校 教頭
北條智秀 様	保護者		

★地域学校協働活動★
地域の方にご協力いただき、ふるさと学習を行いました。
【4年 総合的な学習】「地域に親しもう」
5月24日(金)に、魚津市及びめづらひの保存会の編川様、村木コミュニティセンター理事の飛世様をお招きして、郷土の歴史や語り方について教えていただきました。



【よつば小学校 コミュニティ・スクール通信】

清流小学校や星の杜小学校では、電子黒板を活用して子供たちの様子や学校の取組みを分かりやすく説明していました。道下小学校、経田小学校では、学校のHPをツールとして活用し、広報に努めています。東部中学校では、会議の前に委員の皆さんに授業と休み時間の様子を見ていただく時間を設定していました。また、西部中学校では、チーム担任制についての豊富な資料を提示して詳細な説明がなされていました。

学校では、HPに「コミュニティ・スクール」のコーナーをつくって、発信の準備をしています。上記の「コミュニティ・スクール通信」もよつば小のHPに掲載されています。また、多くの学校では、学校運営協議会と授業参観を組み合わせるなど、積極的に「学校を開く」工夫に取り組む予定です。

協議では、校長の森田委員より学校運営の基本方針が説明されました。グランドデザインをもとに育てたい子供像や本年度の重点について共通認識を図るとともに、学校の現状と課題について詳細な報告がありました。委員からは、建設的な質問や提案が出され、意見交換後に全会一致で学校運営方針が承認されました。また、運営協議会の年間計画や地域の方に学校を開く機会についての説明もあり、今後もよりよい教育の実現に向けて協議していくことを確認しました。

学校のことを知ってもらいたい

魚津市内すべての小中学校で第1回学校運営協議会が開催されました。各校意識していたことは、「広報＝学校のことを知ってもらう」工夫です。



【清流小学校 第1回学校運営協議会】

R6 魚津市のコミュニティ・スクール ～活動紹介～ ②

学校マネジメント研修会

8月27日(火)に魚津市と黒部市の校長・教頭を対象に「学校マネジメント研修会」が開催されました。両市の小中学校が今年度コミュニティ・スクールとしてスタートしたことで、理解をより深め、管理職としてどのように取り組むかを学ぶ機会として設定したものです。講師の



【グループワークの様子】

大山賢一先生は、昨年度まで文科省のCSマイスターとして、全国の自治体で講演や学習会の講師を務められ、現在もコミュニティ・スクール導入促進に貢献されています。魚津市でも研修会の講師等、継続してご指導をいただいています。研修会では、前半は「地域とともにある学校づくり」という演題での講義、後半はグループワークを行いました。グループワークでは、学校教育目標を達成するための具体策を記載したマトリクスをもとに、意見交換、情報交換を行い、全体でも共有しました。

初めてコミュニティ・スクールに取り組む両市の管理職に向けて、大山先生から下記の励ましのメッセージをいただきました。特に、「課題は実践の成果であり、次の成長への目標である」という言葉は印象的で、参加者はコミュニティ・スクールの仕組みを生かした特色ある学校づくりへの意欲をさらに強くしたのではないかと思います。2市合同で実施することで、より多くの学校の取り組みや考えに触れる機会として、有意義な研修となりました。

よりよい学校経営をするために

- ・ 課題は実践の成果であり、次の目標である。
- ・ できない説明より、やる方法を考えよう。
- ・ 改善策は、無限にある。
- ・ 問題のある現場に立つと見えてくる。
- ・ 困らなければ、知恵は出ない。
- ・ 満点は望まない。60点でよい。進もう。
- ・ 誤りは、その場ですぐ直そう。
- ・ 何が何でも楽しくやろう。



【グループワークの様子】

学校の取り組み紹介 ～学校・家庭・地域合同研修 特別講演会～

6月27日(木)に、よつば小学校で、教員や保護者、学校運営委員はじめ地域の方々を対象とした合同研修会が開催されました。中央の大学教授を講師として招聘し、「子供の心を守り育てるために大切なこと」と題した講演でした。この研修会には、よつば小学校の教員、保護者、地域の方々、校区の中学校はじめ市内のPTA役員の方が参加されたと聞いています。

コミュニティ・スクールは、学校、保護者、地域が共通の課題を認識し、共通の目標やビジョンをもつことから始まるといわれています。そういった面で、この合同研修会は、コミュニティ・スクールのよさを生かすとても意義ある取り組みであると思います。

今後も、学校と地域の協働活動について各学校の取り組みを紹介していきます。

R6 魚津市のコミュニティ・スクール ～活動紹介～ ③

11月には、よつば小学校(11/11)と経田小学校(11/15)で第2回学校運営協議会が開催されました。それぞれの協議会では、学校の取組みの進捗状況や成果・課題、地域学校協働活動等について、熱心な協議がなされました。

第2回学校運営協議会 経田小学校

開会の挨拶の中で、校長の土開委員から、今年度は特に学校の活動の様子をオープンにするよう工夫しており、学校行事には地域の方が多数おいでになったとの報告がありました。協議では、学校の間接評価として、7月に実施された児童、保護者、教員アンケートの結果と学校行事等を参観した様子について各委員から意見をいただきました。次に、今年度後半の3つの交流活動(「地域の保育園との交流」「昼なべ談義」「地域の高校生との交流」)の提案について、意見交換がありました。

～経田地区「昼なべ談義」の開催～ 11月27日(水)

そのうちの一つ、「昼なべ談義」について紹介します。経田地区では、以前から地域の将来を考える「夜なべ談義」を開催していましたが、コミュニティ・スクールが導入されたことを契機に、将来を生きる子供たちが地域のことを考えるきっかけとしてほしいとのことで、6年生を対象とした「昼なべ談義」が実施されました。この企画は、5月の第1回学校運営協議会で経田地区振興協議会の高瀬企画・総務部長から提案があったものです。流れは下記のとおりです。



【趣旨の説明】

1 講師の高瀬さんから「昼なべ談義」の趣旨、テーマの説明
テーマ「未来の経田地区について考えよう」

2 個人思考 → グループ内での意見交換

- ① 今の経田地区に足りないものは? …ピンクの付箋
- ② 自分たちにできることは? …黄色の付箋
- ③ 将来の経田地区はどうなってほしい? …青色の付箋

3 発表に向けた話し合い 4 各グループ発表

5 高瀬さんから感想 評価 6 まとめ



【グループ協議】

講師の高瀬さんのはじめの言葉…「22地区の町内会でも同じテーマで話し合っています。『23番目の地区』として経田小学校の6年生の意見を聞きたいと思います。その意見は地区振興協議会でまとめて、今後よりよい経田地区にするための参考にします。」

子供たちは、意見交換しながら、付箋に「遊び場や買い物するところが少ない」「イベントが少ない」「海や川をもっときれいに」「町を明るく」など、たくさんの意見を書き出していました。また、自分たちにできることとして「ボランティアを積極的に」「お年寄りと話す」「イベントのポスターづくり」などの取組案を意欲的に発表していました。終わりに、高瀬さんからは、「問題に気づき、考え、まとめ、発表する力はこれからも大切です。自分たちが暮らす経田地区をよりよくするためにこれからも意見を聞かせてください。」との話がありました。

育てたい子供像を共有しながら、地区のニーズとふるさとキャリア教育を推進する学校のニーズが合致した有意義な取組みとなりました。

R6 魚津市のコミュニティ・スクール ～活動紹介～ ④

第2回学校運営協議会 道下小学校

12月3日(火)に、道下小学校の第2回学校運営協議会が開催されました。

学校運営協議会の前に、児童の活動を知る機会として「学校保健委員会」を見学する時間が設定されていました。前半は、委員会の児童による発表、後半は、魚津市健康センターの岡田珠衣さんから睡眠の大切さについての講演がありました。児童は反応しながら真剣に聞いていました。

開会の挨拶では、本元会長から「学校、PTA、地域が一緒になって話をする機会はあまりなく、運営協議会が学校を中心とした意思疎通の場となればと思う。次世代を育てることが地域づくりにつながる。それに対して何ができるかを考えるよい機会にしたい」との話がありました。

校長の入井委員から、学校運営についての経過報告があり、意見交換を行いました。道下小が長年取り組んでいる縦割り活動については、「下学年は上学年にあこがれをもち、上学年は責任をもって取り組む中で、別の自分を発見できる。成長につながる優れた取組みである」「縦割り遠足をはじめとして、育ちの目標ができる活動であり、大切にしてほしい」との意見があり、今後も教育活動として位置付けていくことを確認しました。

また、今年から設置された「校内すまいる」について、不登校傾向のある児童の居場所として全員が利用していると報告がありました。委員からは、「不登校を体験した方が社会で活躍している姿をみると、不登校は必ずしもマイナスではない」「自分を受け入れてくれる場であるとともに、親も学校も受け入れてくれていると思える環境になれば」などの意見がありました。

今後の予定として、地域の方とのヒヤリマップづくりの協働活動を検討しているそうです。

道下小学校のホームページより

学校のことを知ってもらうツールとして、学校ホームページがあります。道下小学校では、学校だけでなく、地域で活躍している子供の姿もホームページで発信することを大切にしていると話がありました。地域の活動についての記事を紹介します。



【学校保健委員会の様子】

7月 地域で活動する子供たち

道下コミュニティセンターで活動する子供たちの様子です。

「じゃんこい 魚津まつり」に参加する子供たちが「せりこみ蝶六」の練習に動んでいます。



地域の方のご指導のもと、三味線や太鼓、歌、踊りの練習に熱心に取り組む姿から、仲間と一緒により練習を重ねる楽しさが伝わってきます。

【せりこみ蝶六】

11/16 (土) 花のふれあい交流 (4年)

11月16日(土)、4年生が道下地区社会福祉協議会の「花のふれあい交流」活動に参加しました。

道下地区では長年、地域の一人暮らしのお年寄りの方にかわいい花鉢を届ける活動を続けておられます。



4年生の子供たちが道下地区の民生委員児童委員の皆様と一緒により花鉢をつくりました。

【花のふれあい交流】

R6 魚津市のコミュニティ・スクール ～活動紹介～ ⑤

今年度最後の学校運営協議会

各小中学校では、2～3月に今年度最後の学校運営協議会が開催されました。学校評価に係る協議の中で、学校が実施したアンケートの分析結果や学校視察からうかがえる児童生徒の様子等から、めあての達成度や改善に向けた提案等、次年度につながる意見交換がなされました。

東部中学校 地域人材による授業支援

東部中学校では、2月21日に第2回学校運営協議会が開催されました。東部中学校では、学校運営の重点の一つとして、「地域とともにある学校づくり」を掲げています。



手縫いの学習

今年度は、地域人材による授業支援として、1年家庭科の裁縫実習の取組の報告がありました。手縫いとミシン縫いの実習に計20時間(1学級5時間×4学級)、8名の地域ボランティアの方が講師として学習支援を行いました。生徒からは「本返し縫いを講師の方に教えていただいたのできれいに縫うことができました」との感想があり、生徒にとって大きなプラスとなる取組でした。なお、地域ボランティアの発掘、連絡

調整については、学校運営協議会のメンバーである「地域学校協働活動推進員」と他の委員の方が連携しながらコーディネートされました。大変苦勞されたと聞いていますが、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」と一体的に取り組むことが大切であるとされており、今回の取組が他の参考になるものと思います。なお、次年度には、2年の調理実習でも地域の学習支援を計画しているそうです。



ミシン縫いの学習

ワークショップ型の学校運営協議会

経田小学校では、2月28日に第3回学校運営協議会が開催されました。学校評価アンケートの結果に基づき、教頭先生がファシリテーターとなり、学校関係者評価及び課題に対する改善案、来年度の展望等について、ワークショップ型で協議会が進められ、たいへん活発に意見交換がされていました。

その中で、今年度初めて取り組んだ「昼なべ談義」の評価は高く、次年度も継続することが確認されました。また、「昼なべ談義」で児童が考えた意見は、3月9日の「魚津市まちづくりフォーラム 2025」で高瀬委員が発表することも紹介されました。また、地域資源を活用する取組案についても具体的に提案され、次年度の計画に位置付く予定です。



ワークショップの様子